

所弓便

第11号

所沢市弓道連盟会員 253名

新年度を迎えて

新家 透

…総会挨拶…

本日は、生憎の天気にも拘らず、総会に出席いただき有難うございます。

また、先程理事長から御紹介させて頂いたご来賓の皆様にご臨席いただき総会が開けました事、感謝致します。

24年度も無事に終える事が出来ました。

皆様のご尽力の賜物と、お祝い申し上げます。

少々イレギュラーな出来事も有りましたが、24年度の事業は、ほぼ計画通り遂行されました。会計も、市弓道場の床の張り替えも含め、殆どの支出科目が予算以内で推移しました。

各部長始め、皆さんの気配りの結果であると思えます。

先週4月13日、武道館会議室で理事会を開催し、24年度の事業報告、決算報告、25年度の事業計画、予算について討議頂きました。その結果を、総会資料としてお手元にお配りして有ります。

今年は、役員改選の年であります。25年度・26年度の役員案も含め、後刻、理事会案として提出させて頂きますので、慎重に御審議下さる様お願いして、挨拶といたします。

…総会挨拶に加えて一言…

新家 透

皆様のご協力のお蔭をもちまして、先の総会に

おいて、24年度の事業報告、決算、25-26年度の新役員、25年度の事業計画が提案通り承認されました。ありがとうございました。

引き続き3期目の会長を務める事になりましたが、これまで2期無事に勤める事が出来ました事、皆様のご協力の賜物と、お礼申し上げます。

また、今年度、来年度の役員については、3段以上の多くの会員の皆さんに、何らかの役をお願いすることとなりました。積極的に各行事に参加して、本領を発揮されることを望みます。

去る9日、衆議院予算委員会の中継を聞いていた時、東国原議員が質問に立ち、安倍総理との間で政治不信について質疑しておりました。

東国原氏が、6日に放送されたTBS系番組での「子供が将来になりたい職業」に関する調査結果に触れ「政治家は全体の141位、私はびっくりしまして、私はそういう職業を選んだのかと。どう思いますか？」と答弁を求めました。

安倍総理は「これ、ちらっと見たんですよ。政治家が141位で、140位が入れ墨師。子供で入れ墨師と答える人がいるのか、と非常に驚いた」と返答しました。

ここからが、私の言いたい事。

高い報酬を受け、人のために尽くす政治家でさえ、人気が無いのが嘆かわしいと言う事です。ましてや、皆さんに、報酬ゼロで連盟役員をお願いするのは誠に心苦しい限りです。

ですが、「みんながなりたい役員」を目指して、これまで以上に人の為に働きましょう。

最後になりましたが、長年の懸案事項となっていました近的場危険防止矢止めネット、矢取り道天井板及び安土建屋天井板の修理をおこないました。

日にちを空けてそれぞれ1日ずつ3日にわたって工事を実施しましたが、どの日も天候が悪いなか、各回とも十数名余の会員が参加してお手伝い頂きました。

改めて深謝致します。有り難う御座いました。

∞ 各部報告 ∞

【総務部】

平成25年 所弓連総会

4月20日にご来賓の方々のご参加をいただき、当日出席者60名、委任状提出者82名計142名の出席のもと平成25年所弓連総会が行われました。草賀相談役が議長に選出されて議事が進み、理事会から提出された各議案は全て原案通り承認されました。

(来賓者の方々)

所沢市議会副議長 桑嶋健也様 所沢市弓道連盟顧問所沢市議会議員 秋田 孝様 所沢市弓道連盟顧問 並木正芳様 熊野神社氏子会会長 中野健治様

所弓連会員数

3月31日現在の会員数は253名です。

24年12月以降新たに入会された会員

皆さんよろしくお願ひします。

長瀬涼子 青山久美子 小島理恵 木崎辰雄
山口信一 中西誠一 渡辺美枝子 瀧島広子
池内健治 木下孝昭 國友大裕 古賀佳奈
野見山木染子 今井敏嗣 鈴木慎一 小田美保
小田島実知子 松村峰裕 木下未菜

昇段・昇格

平成24年11月12日以降25年3月末までの昇段・昇格者おめでとうございます。

四段 古敷谷千賀子 松尾みどり
三段 深見恵子 宮川八潮 黒木宝子 関口研二
初段 林 義照 安立倫生 岡田成宏

平成25年度埼玉県弓道連盟長寿表彰

おめでとう御座居ます。表彰式は4月28日、埼玉県弓道連盟評議委員会にて行われました。

- ・米寿 日尾野良弘 さん
- ・傘寿 田島 美子 さん

平成24年度所沢市体育協会賞

次の方々の受賞が決定しました。表彰式は3月2日市民体育館サブアリーナにて行われました。

・体育協会功労賞

上橋 宏

・体育協会優秀選手賞

松寄恭子 中村徳海 粕谷吉一 熊井紀一
下田 徹 栗原大智 金井雄太 吉田万里映
澤田靖子

・体育協会優秀団体賞

所弓連F 石川淳子 増田裕子 松寄恭子
所弓連P 下田 徹 澤田靖子 中村徳海
スポ少B 内海隆太 伊藤大将 栗原大智
所弓連K 山本絵美 奥富季乃 三好啓子

熊野神社弓祭・第45回武州弓道大会

当連盟最大のイベントである、武州弓道大会が今年も関東各地で活躍している弓友たちに参加を呼びかけ、11月23日(金・祝)に開催された。

午前7時20分会長を先頭に代表者10名が熊野神社に参拝、三上宮司から大会の無事を祈念して祝詞を奏上して頂き、一同大会々場の武道館に向かった。

生憎来客の出足を鈍らせるような冷たい小雨が降り始め、関係者を心配させたが、8時の受付開始と共に続々と弓友が集まり安堵した。

今大会の参加者数は、383名、内所弓連会員66名、お手伝いのみ5名とスポ少13名の計84名であった。



9時、会長の先導で「熊野神社遥拝」ならびに

「国旗拝礼」そして挨拶に続き、ご来賓の市長藤本正人様、議長浜野好明様、市議会議員秋田孝様、所弓連顧問並木正芳様にご挨拶を頂いた。

矢渡 (射手・新家会長、介添、三好啓子・住田眞美枝両錬士) の後、熱戦が展開した。予選通過者は、383名中、190名(49.6%)内、4射皆中者が23名。小休止の間に的替えをして、射詰による順位決定戦に移った。決勝射詰めに移っても、1回目の2射皆中者61名、2回目29名と、決勝射詰めで4射皆中しても4名は25位までの順位に入れないと云う、かなり厳しい戦いと成った。その厳しい戦いを勝ち抜き栄えある優勝の「竹弓」を手にしたのは、桶川市弓道連盟の竹村銀郎(たけむらぎんろう)選手であった。所弓連会員の入賞者は、4位粕谷吉一、17位豊田佳隆、22位中村徳海選手で有った。

武道館に移って3回目の大会、各部所を担当してくれた役員も、その業務に慣れてスムーズな運びに成ったような気がする。また今回は、予選の時から昨年3射場で有ったのを4射場に増やしたので試合の運行に空きが出来るのではないかと懸念されたが、その様な心配も無く順調に競技が進み16時30分には表彰式まで終えることが出来た。

省みると、今回のような朝から冷たい小雨が降る天気の場合、以前の熊野神社市道場での開催を思うと、前日より来客用のテントを幾張りも準備したり、弓具を濡らさないような配慮をしたり、そして大会終了後にはテントを乾かして畳んで倉庫に納めたりと、会員総掛かりでやらなければならない作業が多数有ったが、その大変な作業から開放されたと云う事は、会場を変えて正解だったな!と実感出来る大会であった。

昨年に比べると会員参加が減少の中、大会運行のための役員を(一部の会員には兼任)引き受けて下さり多数の参加者に対応し、無事に大会を終えたことを感謝申し上げます。

平成25年所弓連初射会及び新年会

25年1月13日(日)

数日前の天気予報では、13日は雨か雪になるとの事でしたが、幸いにして平年よりは少し暖かいくらいの好天に恵まれ、予定通り午前9時、来賓に藤本正人市長、浜野好明市議会議員、秋田孝市議会議員、並木正芳所弓連顧問の4方をお迎えして初射会を開始しました。

参加者は一般会員63名、スポ少17名、合計80名。会長の先導で一同打ち揃い今年1年の安全と健康を祈念して、神前礼拝を行ないました。

会長の挨拶、そして来賓の祝辞を頂いた後、24年度の昇段、昇格者表彰、元旦百射会の的中上位10名の表彰を行い、開会式を終え射会に移りました。

草賀淳教士6段(介添 飯島稔凱、甲斐久歳)による、巻き藁射礼、新家透会長(介添 竹下眸、中村康代)による、矢渡に続き、参加者全員が高段者から順に、今年に賭ける意気込みを胸に1手行射を、真剣に勤めました。

それぞれが、気合を充実させた行射を終え、気持ちがおそろい所で、初射会恒例の「金的」「扇的」射抜きの余興が、今度は逆に低段者の方からチャレンジが始まりました。金的、扇的共に5個ずつ、的中の早い人から順に、天位、地位、人位、4位、5位を競い、誰かが的中する度に周りから歓声が起こり、正に初射会らしい楽しい雰囲気射場に漲りました。

射会は予定通り午前中に終了し、午後は1時30分から場所を熊野神社社務所に移して、新年会が開催されました。新年会の参加者は49名、来賓には斎藤博体協会会長、浜野議長、秋田議員、並木顧問、熊野神社宮司、氏子会会長の6名をお迎えして賑やかに行なわれました。

市立明峰小学校3年生の市弓道場見学

2月7日、曇り空の寒い午前中に市立明峰小学校3年生の男子と女子合わせて10名が先生に引率されて市弓道場に見学にきました。

これは普段子供達がなかなか見られない場所を

見学し、学校では味わえないことを学ぶ総合的な学習と位置づけられ、光栄にも市弓道場も見学先に選ばれました。

当日は、会員による何回かの演武を行いました。各演武者は、孫のような年頃の生徒達の前で過度に緊張してしまいいちの中はイマイチでしたが、子供達はそれぞれ満足してくれたようでした。

過日、礼状を兼ねた感想文を頂きましたので下記掲載させていただきます。



(感想文)

弓道場の方へ HKさん

この間は、見学させてもらい有り難う御座いました。私が、一番思い出に残っているのは、弓や矢をさわったことです。弓の引くひもは、とても重かったです。矢のささる所は、いたかったです。これからも、お体に気をつけてがんばって下さい。

弓道場のみなさんへ RKさん

弓道場に行ったとき、いろいろな事を教えてくれてありがとうございました。弓道場で教えてくれたことが、とてもべんきょうになりました。わたしは、弓道場でつかっていた弓が大きくて、おどろきました。あと、まとや弓の数がたくさんあってすごいなあとおもいました。これからも弓道がんばってください。

弓道場のみなさんへ KTさん

おいそがしいなか見学させてもらい、ありがとうございました。

弓道場のものをさわらせてもらい、ありがとうございます。あと、こまかいことまで教えてもらい勉強になりました。らい年の三年生にわからないことを教えてあげたいです。

弓道場のみなさんへ RSさん

この前は、おいそがしいなか、わたしたちのために、何日も前から、じゅんぴしてくださって、ありがとうございました。

これからも、お仕事ががんばって。

弓道場のかたがたへ MHさん

このまえは、おいそがしい所 いろいろ教えていただきありがとうございました。ふだんはみれない物をたいけんさせてもらったので、かぞくや、来年の三年生にじまんしたいです。とても勉強になりました。

今どは、弓道場のよい所やいい工夫をみつけたいです。

弓道場のかたがたへ TFさん

おいそがしい中いろいろ教えていただきありがとうございました。わたしたちにとっていい勉強になりました。これからもじこのないようにがんばってください。

弓道場のみなさんへ YKさん

ぼくは弓道場に行けませんでした。

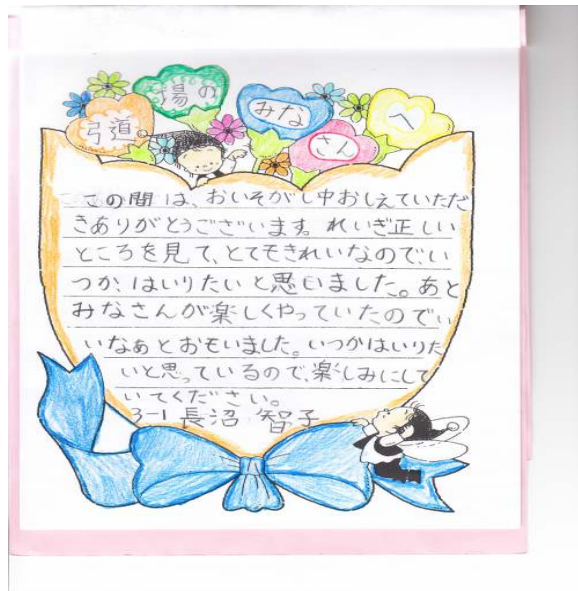
でも、友達に行ったときのことを聞きました。でもまだ分からないことがあります。まとに当たったらまとの所はやぶれます。そのあとはどうしているんですか。それを見にいきたいです。

弓道場のみなさんへ NSさん

この前は、いろいろ見学させていただきありがとうございました。弓道場にはじめて行ったから、さいしょは、何するんだろうと思いました。矢をはなつ音はびっくりしました。この前見学に行ったから部活は弓道にはいりたいなと思いました。

弓道場のみなさんへ TNさん

この間は、おいそがしい中おしえていただきありがとうございます。れいぎ正しいところを見て、とてもきれいなので、いつかは、はいりたいと思いました。あとみなさんが楽しくやっていたのでいいなあとおもいました。いつかははいりたいと思っているので、楽しみにしててください。



弓道場のみなさんへ MSさん

この前は見学させていただきありがとうございました。おかげ様で弓道場のことを色々知ることができました。また、弓道場に行けたら行かせてください。

弓道場のみなさんへ YOさん

ぼくは、行けなかったけど、みんなから、話を聞いて「楽しい所だろうな。」とそうぞうしていました。みんながとても楽しい所と言って、ぼくも行きたかったけど、話を聞くだけでも行っているような感じでした。本当にありがとうございました。

弓道場のみなさんへ AOさん

ぼくは、矢の長さとか、弓の長さとかいろいろなことを教えてくれてありがとうございました。また、弓道場のみなさんにあいたいです。

所 弓 便

25年 3月17日 11号編集開始

25年 5月15日 11号発行

神社道場メンテナンス

12月22日 大掃除及び不詳弓具整理(処分後残った弓具は市内高校弓道部へ寄贈)

19日 近的場危険防止矢止めネットの修理(手伝い参加者男性19名、女性3名)

1月

3月13日 矢取り道廊下天井板修理

4月17日 安土建屋天井板修理、除草剤散布及び施肥

【指導部】

定期講習会

平成24年11月から平成25年3月末までの講習会受講者数

橋田教室(毎月第1木曜日、第3土曜日)

受講者延 49名

土曜講習会(草賀 淳先生)(毎月第2土曜日)

受講者延 57名

水曜講習会(見原重信先生)(毎月第4水曜日)

受講者延 64名

所弓連四段以下講習会

1月19日(武道館)

講師: 永島英男先生

受講者: 14名

寒 稽 古

1月7日から11日まで

武道館 延べ32名参加

市弓道場 延べ67名参加

初心者弓道教室

24年度後期

期 間 2月16日~3月16日

毎土曜日 午後1時~4時 全5回

修了者数 21名 (内16名入会)

【競技部 (スポーツ少年団含む)】

《所弓連主催射会》

所沢市青少年三道大会 (弓道の部) (11月11日)
 (武道館) 中学生以下16名・高校生46名参加
 《中学生以下の部団体》

- 1位 スポ少A 林 雅茂 横山海友 伊藤 颯
 2位 スポ少D 内海隆太 伊藤大将 栗原大智
 3位 スポ少C 奥泉優斗 佐倉 豪 末廣侑也
 《中学生以下の部個人》

- 1位 横山海友 2位 伊藤 颯 3位 内海隆太
 4位 伊藤大将 5位 吉田万里映 6位 末広侑也



(中学生以下の部の行射)

《高校の部団体》

- 1位 所北A 水梨 亮 鈴木波流 浅見清親
 2位 所北B 有賀壮汰 久慈拓哉 長谷川優
 3位 所高A 中島健太郎 木下正貴 市川 将

《高校男子初級の部個人》

- 1位 大島廉太 2位 栗原大和 3位 伊藤 哲
 《高校女子初級の部個人》

- 1位 梨木美奈子 2位 藤ノ木蒔子 3位 関谷瑞歩
 《高校男子上級の部個人》

- 1位 市川 将 2位 鈴木波流 3位 浅見清親
 《高校女子上級の部個人》

- 1位 林 理紗 2位 前野仁美 3位 木崎風花
 《個人総合優勝》 市川 将 (所沢高校)

第45回武州大会 (11月23日) (武道館)

- 1位 竹村銀郎 (桶川) 2位 落合正規 (越谷)
 3位 福田哲郎 (川高) 4位 粕谷吉一 (所沢)
 5位 山口 純 (茨城) 6位 小林侑氏 (敷留)
 7位 青木 豊 (行田) 8位 岩崎和也
 9位 大西 悟 (入間) 10位 大島廉太 (所高)



(今回も豪華な賞品)

納射会 (12月9日) (72名参加 武道館)
 《団体戦》

- 1位 外車A 瀬賀かほる 藤田 良 草賀 淳
 2位 ニッサンA 中村康代 深見恵子 新家 透
 3位 トヨタA 奥富季乃 新井忠文 永島英男
 3位 ニッサンC 関口二郎 吉田万理映 金子暁彦

《個人戦》

- 1位 山口正彦 2位 松寄恭子 3位 松寄 昇

百射会 (12月31日~1月1日) (市弓道場)

参加総数21名 百射修了者 16名

- 1位 山田大介89中 2位 下田 徹88中
 3位 粕谷吉一85中 4位 関口二郎73中
 5位 中村徳海70中 6位 藤田 良60中
 7位 星川三樹男57中 8位 元田郁男53中
 9位 小林康則51中 10位 中村康代49中

初射会 (1月13日) (80名参加 市弓道場)
 《金的賞》

- 天位 住田眞美枝 地位 石川淳子
 人位 竹下正博 賞 黒子暁和

《扇的賞》

天位 山口ひろ子 地位 平山夏子
 人位 関口研二 賞 黒木智哉
 賞 藤原敬一

武道祭 (2月3日) (武道館)

一立：スポ少5人による立射でのさみだれ式射
 二立：男性5人道着による板的を用いた一斉射
 三立：女性5人紋付による持的射礼

月例射会 (3月10日)

(近的56名、遠的27名参加 市弓道場)

《遠的》

1位 藤田 良 2位 星川三樹男 3位 石川淳子
 4位 藤原敬一 5位 甲斐久歳

《近的》

3段以下男子

1位 福田泰平 2位 関口二郎 3位 小山 等

3段以下女子

1位 深見恵子 2位 黒木宝子 3位 鈴木流渚

4段以上男子

1位 粕谷吉一 2位 藤田 良 3位 小林康則

4段以上女子

1位 松寄恭子 2位 奥富季乃 3位 住田真美枝

∞ 投 稿 ∞

ブータンと弓

小林康則

昨年末、9年ぶりにブータンを訪ね高所の山あるきを楽しみ、併せて国技の弓を観戦する機会があった。

ブータンの人口は所沢市の約2倍の80万人、今でも豊かな自然が残るヒマラヤ山脈の東端に位置する小さな仏教王国だ。北はチベット、南と東はインド、西はシッキムを挟んでネパールと接し広さは九州とほぼ同じくらい。

パロ国際空港は標高2000mを越す、稲穂が揺れる水田に囲まれた中であつた。平らな場所を

探すとなるとこの辺りしかないのだろう。

国土の殆どが山岳地帯で長いこと世界と孤絶し、独自の文化を育くむ。日本人のような顔立ちのチベット仏教を信じる人が殆どで主食は米。のどかな風景は昔の日本とそっくり、近年かなり車は走っているが、国中どこを探しても信号機はひとつもない。

男性は法律で民族衣装のゴを着ることが義務付けられ、役所やゾン(寺)などかしまった所で着用する。前合わせの筒袖で和服に似ている。親日的で人なつこく親しみやすい気性をもつ国民である。

GNP(国民総生産)は最低ランクでもGNH(GROSS NATIONAL HAPPYNESS)は世界一。物質的な豊かさより、心の豊かさを大事にする国是のもと、家族や地域の絆が強く国民の97%が幸せと答えている。

伝統を守ろうと一生懸命なのは、大国に挟まれて独立国としての存在感を示す必要があるからだろう。

近年様変わりしつつあるが、もともとは物々交換の社会だからお金を使わずに生活できる。ゆったりとした国民の表情はにこやかで穏やかだ。

ブータンで最も人気のあるスポーツは国技の弓。弓は老いも若きも男性が興じる。首都ティンプーの国立競技場脇の草原で日曜日の昼さがり、丹前のような民族衣装ゴに身を包んだ男たち20人ほどが競技の真っ最中だった。



話には聞いていたが、驚いたことに的が遠くて見えない。高さ60センチ、幅20センチほどの洗濯板の

ような的が150センチ先に置かれている。黒いの中円の直径は15センチくらい、ここに当たれば3点、それ以外の部分は2点。チームに分かれて得点を競う。

的前看的係は矢が近くに届くのを待ち、外れれば、右だ、手前だ、と大げさなジェスチャー交じりで指示する。

命中すると、弓仲間が輪になって一緒になって歌い、踊り出し喜びをともに分かち合う。広場には大勢の見物人が集まり観戦する。20分ほどの間に小さな的に2人が命中し、歌う、踊る場面を夢中になってビデオに収める。

上下2枚の削った竹の中央握り部分を針金で結束し、ほぼ直幹型の自家製の弓力は30キロと強い。弓の長さは5尺より少し短いだろうか。

的と両肩が一直線になるよう脇正面に構え、つがえる矢も自家製。矢先は円錐状に尖らせたブリキ缶を竹軸に被せ、筈は凹状の切り込みを入れただけの粗末なもの。

矢つがえ位置は弓の内側にして日本と異なる。二枚の竹が合わさる分厚い部分が握り位置だから、弓返りは出来まい。

弦を人差し指と中指に引っ掛け、「浅くするのがコツ」とか。肘を思い切り引き分け、弦を目いっぱい引いても矢筈は精々口割りに届くか届かない位置、顎近くまで引き下げるのは弓の強さと弦の反発力で遠的を狙うからだ。

チョモラリトレックのガイド、カルゲイの弟NGAWANG DRUKPA(24歳)は弓の名手と自認する。「ストレスがあれば思い通りに弓は飛ばない」と言っていた。

【競技部(続き)】

《対外競技会》

第10回埼玉県武道大会(11月25日)

・弓道大会(県武)

《中学生の部個人》

1位 金井雄太 2位 吉田万里映

《一般女子の部個人》

1位 澤田靖子 3位 石川淳子

《一般男子の部個人》

1位 下田 徹

西部支部納射会(12月2日)(武道館)

参加者110名 内スポ少9名 所弓連29名

《3段以下の部》 1位 横山海友(スポ少)

《4・5段の部》 3位 山本雅子

《称号の部》 2位 増田裕子

平成25年埼玉弓連新年初射会(1月6日)(県武)

参加者 称号者 16名 有段者 なし

1位 下田 徹 3位 熊井紀一 4位 粕谷吉一

西部支部初射会(1月27日)(武道館)

参加者123名 内所弓連40名

2位 藤原敬一 3位 粕谷吉一

西部支部総会射会(3月3日)(武道館)

参加者90名 内所弓連28名

所弓連会員 入賞者なし

神奈川・埼玉弓道指導者親善射会(3月17日)

(神奈川県立武道館) 所弓連参加者2名

【スポーツ少年団】

(*スポーツ少年団の記事は、一部重掲、各種射会記録は競技部に掲載しています。)

青少年三道大会(11月13日)

参加者16名(男子12名、女子4名)

武州弓道大会(11月23日)

参加者13名(男子10名、女子3名)

予選通過者2名 横山海友 伊藤 颯

埼玉県武道大会(11月25日)

参加者10名(男子8名、女子2名)

《中学生の部》

1位 金井雄太(美原中)
2位 吉田万里映(柳瀬中)

西部支部納射会(12月2日)

参加者11名(男子8名、女子3名)

《三段以下の部》1位 横山海友

所弓連納射会(12月9日)

参加者11名(男子7名、女子4名)

スポ少納射会(12月22日)

参加者25名(男子18名、女子7名)

大掃除(12月18日) (神社道場)

所弓連初射会(1月13日) 17名参加

武道祭(2月3日)

演武者 射手:横山海友 渡邊乃恵 伊藤大将
吉田万里映 伊藤 颯
矢取:佐倉 豪 長谷川 栞
見学 7名

所沢市スポーツ少年団交流大会(2月17日)

(マラソン1.9Km 於所沢航空記念公園)

出場者:13名(小学生4名、中学生9名)

全員完走

熊野神社清掃(2月17日) 参加18名

所沢市体育協会 優秀選手、団体表彰(3月2日)

《優秀選手賞》

栗原 大智

24年 7月 6日 県総体 中学・男子個人優勝
金井 雄太

24年 11月 25日 県武道大会 中学・個人優勝
吉田万里映

24年 11月 25日 県武道大会 中学・個人2位

《優秀団体賞》

スポ少B 内海 隆太 伊藤 大将 栗原 大智
24. 7. 6 県総体 中学・男子団体 優勝

所弓連月例射会参加(3月10日)

参加13名

スポ少卒団祝射会(3月23日)

中学3年生 5名卒団

西原 郁哉 花崎 怜奈 相川 由歩 中村 仁昭
藤田 拓磨

∞ 投 稿 ∞

昇段の秘策?

増田裕子

周りの皆さんからよく「審査で緊張しないの?」
と聞かれますが、私は緊張しません。立ちに入る
まではドキドキするのですが、射場に入ると落ち
着いてしまいます。

随分前に、先輩から言われた言葉があります。
競技会の時、同中となり、射詰めになりました。
「ああいやだなあ」と思わず言葉を漏らしたとこ
ろ、その方から「また一本引かせて貰えてありが
たいじゃないか」と言われました。確かにその通
りだと思います。

大好きな弓ですもの。それからは審査の時も競
技の時も“また引かせて貰える”と楽しむ事を心
がけてきました。

今回の審査の時もそうした。私は、4的 です。
大前・2的・3的と甲矢がぼんぼんと中り!!・・・
こういう時、皆さんはドキドキして緊張します
か?何故か私は、「やった皆カッコいい」さあ私も
後に続くぞーと楽しんでいました。

しかし、乙矢でハプニング。筈が入らない!!ど
うしよう!!このまま退場?と思った時やっと入り
ました。その時も焦る事なく、頭に浮かんだのは
“また一本引かせてもらえる” それだけでした。
乙矢は落ち着いて甲矢より会があり、的中するこ

とができました。

自分を見つめ、審査の時に気持ちと射技をベストの状態に持っていく。なかなか難しいことですが、それには、やはりそれまでの練習あるのみです。自分で納得できる練習ができていれば、どんな場面でも緊張する事なく一番良い自分が出せると思っています。

最後に、今回六段に昇段する事ができましたのも、これまでに練習に付き合ってくれた仲間、また見守って下さっている諸先生方、良い環境で弓を引かせて下さっている弓道連盟の皆様には、感謝いたしております。

ほんとうに有難うございました。

錬士を受審して

松 寄 昇

昨年10月20日(土)東北臨時中央審査を受けました。その3ヶ月前には、審査の申し込みなどしようとも思っていませんでした。私は、日頃の練習を夜7時半頃からしています。練習量としては、多い方では無いように思います。受審のきっかけを作ってくれたのは、練習仲間の皆さんです。「そろそろ錬士を受けて見たらどうですか?」と背中を押してくれ、「じゃあ、申し込んで見るか」そんな気持ちで申込用紙を書きました。

それから2ヶ月ほどは、基本(入退場、歩き方など)をもう一度見直し、少ない練習時間の中で、「前の日のことを忘れないようにすること」に集中しました。

そして、1週間ほど前になると、何故か緊張感が湧き上がってきて、上がっていたのを覚えています。

審査当日、巻藁練習で、とても良い感触で引けました。それまでの緊張が嘘のように取れ、審査を受けることができました。

今では、「受審して本当によかった」と心より思います。

背中を押してくれた弓友、助言を頂いた先生方に心よりお礼を申し上げます。

誠に、ありがとうございました。

怪我の功名?

竹下 眸

昨年10月、五段認許を戴きました。

当日、第三控えに居た所、私達の立ちの前で休憩が15分入るとの知らせが有り、既に控えに入っていたので30分位待つ事になりました。直前での休憩は緊張感と集中力が途切れた過去の経験から、咄嗟に無闇に過ごしてはならないと思いました。私は二的だったので休憩を利用して、大前の方に「一緒に歩いてみて下さい」「襷捌きの速度は?」等お願いして一度練習をして頂きました。立射の有無も確認し、見ず知らずの方と御一緒する不安も無くなり落ち着いて入場する事が出来ました。大前の方は皆中でしたが私は甲矢を外しその時頭を過った事は(来月、家に二人目の孫が生まれる、当分お稽古が出来なくなる、おばあちゃんしっかりせねば!)と自分に発破を啖け、乙矢は中りましたが期待せずに発表を待ちました。結果、同じ立ちでは大前の方と二人が合格でした。

他にも足指骨折から半年、跪坐が出来る様になって一週間、その嬉しさだけで受審した事が反って良い結果に繋がった気が致します。

休憩が入った事、怪我をした事、ピンチをチャンスに変えるのは自分だけなのだと言う事を実感した審査でした。

後日、審査を見ていた人から「大前の方と襷捌きの呼吸がぴったり合っていて安心して見ていられた。」と言われました。

これからは、襷捌きだけでなく、遠い道程ではありますが、人様が安心して見ていられる様な射を心掛けなければならないと、つくづく感じています。

如何なる時もお指導下さる先生、先輩、弓友の皆様にご心より感謝申し上げます。

弓道を続けられること

松本裕子

弓道は生涯スポーツ探しの一つとして始めました。飽き性の私が4年余り続けて来られたのは、諸先生のご指導のお蔭です。技術面は勿論のこと、

精神的に逃げ腰の私を気長にご指導下さり感謝しております。

又、度重なる筋骨の故障で休む時は、「自分には向かない！」と弓道を止めたくになります。そんな時は教本を読みます。読む内に未熟な自分を見つめ直し「もう一度、一からやってみよう」と考えを改め、リハビリの気持ちで弓8～9kg一射から始めています。

熊谷審査では、幕に「澄心」と有りました。私は「真を尽くす」「澄心」の文字が好きです。上がり症でその場から逃げたくなる性格ですが、二つの言葉を心に「素晴らしい先生の前で体配できることの有難さ」と気持ちを切り替え審査に望みました。

最近「弓道は、諸先輩や朋輩の方々が有ってこそ続けられる道なのかな？」と考えます。互いに助け合い、支え合い、高め合う、有難い存在です。

これからも心の安定に努め、一射一射を大切に弓道を続けて行きたいと思います。今後共どうぞ宜しくお願い申し上げます。

参段合格頂いて

黒木智哉

昨年の10月に秩父審査にて、参段に合格することが出来ました。

前回二年ほど前に上尾で不合格になって以来、初心に返ってもう一度すべて見直そうと思いました。

体配・射ともひとつひとつじっくりと確認しながら稽古に励みました。審査当日は今までやってきたことを見て頂こうという気持ちで挑みました。結果は片矢でしたが、なんとか認許頂くことが出来ました。

ひとえに指導して頂いた先生方を始め、先輩・弓友に励まされ育てて頂いて感謝しています。

四年半前に神社弓道場に夫婦で見学に来て以来、弓のことを何一つ知らなかった自分自身がようやく先生方に言われていたことが、少しずつ理解できるようになってきました。

まだまだ分からない事ばかりなので、今後ともご指導のほど、宜しくお願い致します。

・*。・克己・。*・

安江仁美

やっと参段に合格することができました。ひとえに先生方・先輩方のご指導と弓友の皆様の支えあつてのことと感謝しております。

審査に挑み続ける日々の迷い・あせり…、自分の甘さ弱さに向き合う経験は日常生活ではなかなかないことばかりでした。これまでは審査が近くなると気持ちは張り詰め、当日も日頃の120%の力を発揮したい！と欲張ってしまい、力んばかりでした…。

今回は、“これまで学んできた事をひとつひとつ丁寧に、今できる最善を尽くすこと”に努めました。

当日の術科では4人立ちのところ欠があり3人立ちの落に。退場は前？後ろ？…確認してひと安心。心を落ち着かせて入場—いざ自分の番です。打起しからじっくり会まで運び、気付いたら甲矢が当たっていました。退場までしっかり大切に…と思うも昼休憩前の最後の立だったので、誰もいない射場はやけに広く感じます。本座・退場口の位置を心配しつつ“目づかい注意！”と自分に言い聞かせ退場口へ…。合格の発表を見てやっと安心することが出来ました。

今は、襷がけと苦手の跪坐に四苦八苦!!とまだまだ未熟者ではありますが、こつこつとお稽古に励んでいこうと思います。今後のご指導よろしく願いいたします。

参段の審査に合格して

関口二郎

今回の審査に合格出来ましたのは多くの方々からのご指導があつてのことと思っております。

講習会では参段の審査に必要な目標を探しました。先生や先輩に相談してどうすれば問題点を解決出来るのか導いていただき、目標に向かって修練して来ました。

解決すべき問題点とは、自分の射が毎回基本を大切に出来ないことでした。自分だけでは、はがゆいばかりでどうにも出来ませんでした。皆様のご指導の下それを少しずつ直していくことが出来ました。

まだまだ胴造、手の内、引分けなどすべて射法八節の完成の難しさを思い知らされています。これからも基本の反復練習で射法射技を磨いていき、また日々の生活に弓道の心を生かしていきたいと思えます。

先生、先輩、弓友には感謝の思いでいっぱいです。本当にありがとうございました。

未熟な私は二段離れに悩む毎回です。先生曰く「(正真正銘の)二段離れ!!」

真の式段を離れ、参段として精進して参ります。

弓道に出会えて

黒木宝子

まだはっきりと覚えています。2月10日、晴天、とても暖かな日でした。

上尾の審査会場で3回目の3段の審査で合格をいただきました。

とても嬉しかったです。2回目の秩父の審査では緊張のあまり審査中の記憶がないぐらいでした。からの的にも当たらず悔しい思いをしました。そして同期の主人に先を越され、非常に悔しい思いをしました。しかし私にとってこの三回目の審査を受けるにあたってとても大事なことを学ぶことができたのです。それは学科の試験問題の中の「平常心」ということについての問題でした。「どんな時でも自分を見失わない」・・・不思議と私の心にしみるように入ってきました。前回勉強した時にはさほど真剣に考えず頭に入れていたのではと思えます。

今振り返ると、私に一番必要だったのだと思えました。今回の審査では当てに行くのではなく綺麗な射を引ききろう、ということだけを念頭においたことで緊張もなく気持ちよく引くことが出来ました。

審査で初めての矢が入ったことが何より嬉しかったです。まだまだ未熟な私ですがこの審査を通して弓道は射を行う行為だけでなく精神と一体であることをつくづく感じ、好きになりました。

ご指導してくださった先生や先輩方々に心から感謝いたします。また一步、先を目指すため精進したいと思えます。宜しくお願い致します。

昇段審査にて

福田秦平

私は11月、熊谷で式段の審査を受け、合格することができました。

まったく知らない場所へ行くという事で、夜も眠れず、眠い目をこすりながら家を出ました。何とか最寄りの駅に到着し、会場までの循環バスに乗ることが出来安心しました。しかし、バスは予定の時刻になっても発車しません。すると、バスの運転手が「エンジンが馬鹿になった」と言い、発車が遅れ、「大切な日なのに幸先が悪い」と思いました。

少し遅れて会場に到着し、人の多さに驚きました。当日は午前が筆記、午後が実技でした。筆記は初段の時と同じで、学校の試験と同じくらい緊張しました。しかし、午後の実技は午前の筆記以上に緊張しました。なぜなら、一番恐れていた大前になったからです。「気にしなければ大丈夫」と心に言い聞かせながら入場しました。いざ審査員の先生方を前にすると、緊張で頭の中が真っ白になり、矢も的に当たりませんでした。しかし、今の自分の精一杯の射が出来たと思えました。結果が貼り出され、自分の名前の前に「合」のがあった時の喜びと嬉しさは何物にも代え難いものでした。

ご指導いただいた諸先生方のお陰で、無事に昇段することが出来ました。次は参段に昇段出来るように精進していきます。

初段に合格しました

長谷川 泰子

娘と始めた弓道。『うまくなりたい。』『的に当てたい。』気持ちばかりで、娘のほうが、どんどん上手くなっていきました。そんな時、審査の話をしていただきました。

なんとか、的に立てるようになったとはいえ、審査を受けられるレベルではなく、少し考えましたが、受ける事にしました。

受けることを決めてからは、先生方に、細かい部分まで丁寧にご指導していただき、今まで以上に練習しました。勉強からはかなり遠のいたので、なかなか覚えられず、苦労しました。

審査当日は、緊張しました。

実技審査を待っている時間の長いこと、緊張もピークでした。一手を持ち、いざ審査へ・・・練習してきたことを出しきれたのか？あつという間の実技審査でした。

筆記試験は、時間いっぱい使って、習ってきたことを思い出しながら、一文字一文字書きました。

実技、筆記を終えて、いよいよ発表。

合格でした。ほんとに、嬉しかった。

先生方には、感謝の言葉しかありません。そして、この日は母の日で、送り出してくれた家族に、いい報告ができてほんとによかったです。

ありがとうございました。これからも、ご指導よろしくお願いします。

初段審査に合格して

日野義弘

弓道をまなび始めてはや2年が経ちましたが、此の度やっと初段審査に合格することができました。2年前に突然武道館の講習も経ないで、弓道をまなびたいと弓道場を訪れましたが、応対頂いた上橋先生に快く引き受けて頂き入門することができました。

入門時の年齢も高く、講習も受けていないため戸惑う事ばかりでしたが、先生方には精神面から射法、射技迄諸所に亘り厳しいご指導頂き、また先輩方の温かいご援助も頂きましたので何とか此处まで続

けることができました。

最大の悩みは引分け時、矢尺を一杯に取りながらもいざ離れの時には矢尺が戻り甘くなることでした。其の為開きも儘ならず悩むことばかりでした。やっと審査間近になり引いた肘を止めるのではなく、肘で引き続けなければならないとご指摘をうけ、肘で引き続ける事で腕が開くようになりました。

また呼吸を整え、精神を統一することで自我の世界にも入れるような気がしました。

審査の直前、熊谷運動公園弓道場に2度お伺い致しました。

1度目は審査当日迷わず、時間通り辿り付く為の下見でした。お伺いしましたところ、快く弓道場を案内して下さい、審査員席が間に入るための間隔が1.5mになること、退場時、審査員に揖をする際180度近くの反転が必要であることなどの説明を頂きました。また事前に実射することも必要であると勧められました。そこで後日、初段審査の方4人でお伺いし、実際に弓を引かせて頂きました。正に弓倒しの際は弓を斜にしなければ完全に前の方に当たることも体験させて頂きました。

2度の訪問により、審査当日は精神的にも落ち着き、直前に教えて頂いた腹筋で呼吸を整え、天地左右十文字の体系を守り、肘で引き続ける事を思い続け実践することができました。残念に思われるのは、退場時に余りにも自分の世界に入り過ぎミスが出てしまったことです。次回の審査には、退場時迄神経を集中させ遣り遂げたいと思います。

上橋先生、及び諸先生方の厳しい、愛のご指導に深く感謝申し上げます。

やっと合格

松浦篤子

入門から約1年や～っと初段に合格しました。いや～大変でした。審査1回目 幕打ちと掃き矢であえなく一級。2回目本人はなぜ？でも結果は不合格。さすがに落込みました。不合格の理由が本当に知りたかった。道場に行くのも気が重いでもここで休むと、続けられなくなりそう…。何とかがんばって道場に出かけていきました。

そして3回目 今回は仲間と下見に行ったりして準備を整えて挑戦。これで又不合格だったらどうしよう。ついに合格。うれしかった。すき好んで始めてしまったことなので、誰のせいでもないのですが、苦勞しました。これからも思いやられます。トントンと昇段された方には信じられないでしょうが、(それも初段で)大変な人もいますよ。こんな人もいますので、不合格が続いても大丈夫 次がんばりましょう。

励ましてくださった皆様ありがとうございます。今後ともよろしく願いいたします。

∞ お知らせ ∞

初心者弓道教室を開催します

6月1日～29日 市弓道場
 毎土曜 午後2時～4時30分(5回)
 毎水曜(補講) 午後7時～8時45分(4回)

スポ少初心者弓道教室を開催します

5月18日～6月22日 市民武道館弓道場
 毎土曜 午後6時～8時30分(6回)

審査申込書の記載について(注意)

前10号の所弓便にて審査申込書の記入ミス、記入漏れに注意をお願いしましたが、まだ多く見受けられますので記入については、慎重にお願いします。

尚、最近、修正液(白色)での訂正が多く県連に届く頃には、「書類がこすれて白い部分に変色し見た目が大変よろしくない」との指摘がありましたので極力修正液での訂正はしないようにお願いします。

軽微な訂正は、これも第7号の所弓便でお知らせしましたが間違えた文字を横二重線で消しその上に正しい文字を記載してください(訂正印は無くても可)。

今後、修正液(ペン)で訂正した審査申込書の受付が出来なくなる場合もありますので十分注意してください。(審査受付担当)

∞ 会長月誌 ∞

平成24年11月 5日

第23回シティマラソン総務部会に出席

・仕事内容と係分担

11月17日

県連理事会に出席

・25年度行事予定

11月18日

武道祭実行委員会に出席(上橋競技部長同行)

・行事内容再確認

11月19日

シティマラソン実行委員会に出席

・各部会進行状況

11月28日

武道館に25年度行事予定(武道館開催)提出

・所弓連・西部支部・県連関係

12月 2日

シティマラソンに役員として参加

・本部総務委員：新家

・走路第3ブロック担当(敬称略)

渡部知実、松寄恭子、前島あき子、松浦篤子
 藤田 良、川端由美子、平子敬二、中村康代
 家長知史(大会プログラム名簿順)

12月17日

三道大会反省会に出席(上橋競技部長同行)

・25年度の日程は平成25年11月10日に決定

12月20日

体育協会役員会に出席

・市民体育館10周年、体協60周年の記念行事

12月23日

市民武道館利用者団体連絡調整会議に出席

支部：甲斐理事長、所沢：飯島理事長

・25年度の武道館予定決定

平成25年 1月20日

第3回武道祭実行委員会欠席(インフルエンザ)

上橋・石川競技部正副部長出席

2月 7日

所沢市体育協会競技団体部会に出席

・体育協会賞の検討

2月 7日

所沢市体育協会理事会に出席

・体育功労賞、優秀選手賞、優秀団体賞の選考

2月12日

シティマラソン大会第3回総務部会に出席

・大会の概要と反省点について、決算

2月19日

シティマラソン大会第3回実行委員会に出席

・大会の反省について

2月23日

県連理事会に出席

・24年度決算報告・25年度予算の各案

3月 2日

所沢市スポーツ大賞・所沢市体育協会賞表彰式に出席

・体育協会賞 功労賞：上橋 宏さん

4月18日

所沢市指定管理者選定委員会の市弓道場視察に立会（選定委員8名、市職員7名計15名来場）

∞ お悔やみ ∞

去る平成25年2月7日龍池昇参段が逝去されました、享年73歳でした。お悔やみ申し上げます。

龍池さんは、アニメーション美術を専門とする「とんぼスタジオ」を主宰する大監督さんでしたが、道場内ではその様なことは全く見せず、物忘れの多い髭のおじさんを地でいき誰からも親しみを持たれ、自身は誰をも受け入れた大人（たいじん）でした。

所弓連のホームページ巻頭に龍池さんの市弓道場のイラストの使用をお願いする時に伺った“矢取り道屋根のコントラストを少し暗くしたのは、ここは反省の道だから”との言葉を思い出

ます。

通夜・告別式には多くの弓友が故人に別れを告げに参列しましたが、とりわけ2月上旬の厳寒・烈風の中にもかかわらず、2日間に亘って森谷さんと元田さんが受付などのお手伝いをして下さいました。有り難う御座いました。

∞ 編集後記 ∞

年齢を数える時、なぜ1歳から9歳まで“つ”の付く呼び方“ひとつ、ふたつ、……ここのつ”としたのか良く考えもしませんでした。今号に感想文が掲載されている明峰小学校三年生の子供達を間近に見て少し納得出来た様にも感じられました。

相手をキラキラした目で真っ直ぐに見つめ一生懸命話す光景を見てどの子でも9歳頃までは、すなおで・かしこく、単に“人”と称して一括ひとくくりにすることは出来ない、何か違ったもののように思える年代のゆえなのでしょう。

「弓道を始める年齢は6歳とする」と書かれた古い弓道書もあるそうですが、これは、礼記に曰く「内志正しく、外体直くして」を意図せず具現できる年齢を見極めたものとも考えられます。

“つ”の付く年齢を遙かに超え、その年代に戻ることの絶望的な難しさを日々道場で痛感させられていますが、図らずも子供達から立派なお手本を拝見させていただきました。

広報担当

飯島稔凱 甲斐久歳 小林康則 山口正彦
山口ひろ子 中村徳海 廣瀬雅孝 土井政明

所沢市弓道連盟広報誌 所弓便 第11号

発行日 平成25年5月15日

発行者 所沢市弓道連盟

会長 新家 透